

7 元気な子ども! No.5

平成 26 年 7 月 14 日 天童市立長岡小学校

先週は台風 8 号や大雨をととても心配しました。

4 月から、インフルエンザ・溶連菌感染症・かぜ・感染性胃腸炎などさまざまな伝染病がだらだらと流行し、今年度はまだ「皆出席日」が一日もありません。暑い日が続きますが、元気に登校できるように、ご家庭での健康管理をよろしく願いいたします。

治療や検査は済みましたか？

健康診断は学校保健安全法で、4～6 月中に終了することになっております。

健康診断の目的は、病気や異常のスクリーニングですので、確かな検査や治療とは異なります。「受診のすすめ」は、健康診断で指摘されたことについて、検査や治療を勧めるものです。主旨をご理解の上、受診して下さるようお願いいたします。

また、それぞれ校医の先生方から諸注意やご指導がありましたので、お知らせいたします。

内科検診より

- ・ アトピー性皮膚炎の治療がうまく行われている児童が増えたと思われる。
- ・ 病気や異常は、必ず受診し、医師の指示に従って、治療を途中でやめないようにしてください。

歯科検診より

- ・ 全体的に『健全歯＝むし歯が全くない』がととても増えました。
- ・ 高学年では、生活の様子が歯肉炎に現れている児童が見られる。早寝・早起き・歯みがきは大事である。

耳鼻科検診より

- ・ 「鼻かみ」の仕方を知らない児童が増えていて、低学年は、「鼻炎」「副鼻腔炎」が多くなっている。ていねいに鼻かみをさせてください。
- ・ 「耳垢栓塞」は耳垢でふさがっている状態ですので、医療機関で取ってもらってください。

眼科検診より

- ・ 「結膜炎」はそれほど多くないが、伝染性の可能性があるので、必ず医療機関に受診してから、水泳の授業を受けるようにしてもらいたい。

どく が

ほっしん

毒蛾による赤い発疹が・・・

天童市内の小学校数校で、^{どくが}毒蛾（チャドクガ）によるものと思われる症状が出ている（数名～数十名）と連絡がありました。

原因 夜体育館で活動をしているスポーツ少年団の児童の腕に蛾が止まったり、羽についている^{りんぷん}鱗粉に触れたりしたためと考えられます。

症状 皮膚にかゆみのある赤い発疹、かゆみは長く続く。
腕から全身に広がることもある。

治療 皮膚科に受診する場合、原因と思われる蛾のことを医師に伝えてください。一般市販薬で悪化することがある。

生態 4～10月 年2回発生する。

- ・チャノキ、ツバキ、サザンカの葉を食べる。
- ・幼虫は一カ所に固まっている。
- ・幼虫の毒針毛に触れてもしっしんが出る。
- ・成虫は淡黄褐色
- ・何回も触れると症状がひどくなる。

